

教育委員会会議録

令和3年8月2日（月） 午後1時30分 開会

午後1時54分 閉会

1 議事日程

別紙のとおり

2 出席した委員等

長谷川洋教育長、伊藤志のぶ委員、佐々憲一委員、塩谷育代委員、岡田豊委員

3 出席した職員

横井英行事務局長、稲垣直樹次長兼管理部長、小島寿文学習教育部長
稲垣宏恭教育管理監、加藤文彦総合教育センター所長、高橋亮太総務課長
伊藤尚巳教育企画課長、小清水義晃財務施設課長、坂川智教職員課長
柴田英昭福利課長、大道伊津栄生涯学習課長、栗木晴久高等学校教育課長
伊藤孝明義務教育課長、小林紀彦特別支援教育課長、岩田政久保健体育課長
中島幸一高校改革室長、石川陽子総務課課長補佐

4 前回会議録の承認

長谷川教育長が各委員に諮り、前回の会議録は承認された。

5 教育長報告

令和4年度（2022年度）採用愛知県公立学校教員採用選考試験第1次試験受験状況について

坂川教職員課長が、令和4年度（2022年度）採用愛知県公立学校教員採用選考試験第1次試験受験状況について報告。

長谷川教育長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

6 請願

請願第6号 生命と、健康被害をなくすための、「時間外勤務をなくす」具体的
取り組みを求める請願

長谷川教育長が各委員に諮り、「賛成者少数」により本請願は不採択とされた。

〔委員の主な意見及び事務局の説明〕

（岡田委員）

どこの学校でも年度始めの4月は多忙であり、時間外在校等時間が増えることはやむを得ないと思うが、240時間25分という時間外在校等時間は異常であると感じる。当該教諭はどのような教員であるか。

(坂川教職員課長)

当該教諭は、平成18年4月に岩津高校に赴任して以来、育児休業期間も含むが16年間勤務し、新任から現在に至っている。家庭科教員が13名いる中で、同校での勤務年数が最も長い。性格は、とても几帳面で、常にきめ細かく生徒に対して指導を行っている。責任感が強く、実習における作品のレベルが下がることを非常に懸念しており、防ぎたいという思いが強い。平日は生徒の実習指導に、休日は生徒の作品の点検や実習準備、教材研究に多くの時間をかけるため、長時間勤務の状態になってしまったということである。特に、生徒の作品点検の時間が、時間外在校等時間の半分を占めている。

(岡田委員)

教育熱心な先生ほど、時間をかけて子供たちのために教材研究・授業研究等をしたと思うことには、頭が下がる思いである。ただ、健康を害してしまっては元も子もないため、指導は必要である。岩津高校の当該教諭以外の勤務実態を見てみると、100時間を超えている教員が何人かいる一方で、時間外在校等時間がそれほど多くない教員もおり、ばらつきがある。ガイドラインにも校務分掌の平準化について記載しており、ある程度の見直しの必要はあると思うが、それでも240時間は異常である。熱心で真面目であるから時間がかかっても仕方ないということはおかしい。働く時間には限界があり、その中でいかに子供たちのためにやれるかを考えていくことは、教師としての資質の問題ではないか。当該教諭個人の問題として考える必要があると思う。岩津高校全体の組織の在り方を考えるようなことではない。

7 議案

長谷川教育長が各委員に諮り、第17号議案 公立学校長の人事については、人事案件のため、非公開において審議することとした。

第16号議案 令和4年度愛知県公立高等学校入学者選抜方法の基本方針及び基本事項について

栗木高等学校教育課長が、令和4年度愛知県公立高等学校入学者選抜方法の基本方針及び基本事項を定めるため請議。

長谷川教育長が各委員に諮り、全員一致により原案どおり可決された。

第17号議案 公立学校長の人事について

非公開において審議されたため、愛知県教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、会議録は別途作成。

8 協議題

なし

9 その他

なし

10 特記事項

- (1) 長谷川教育長が今回の会議録署名人として佐々委員を指名した。
- (2) 宮崎邦彦氏から、生命と、健康被害をなくすための、「時間外勤務をなくす」具体的取り組みを求める請願について、口頭陳述したい旨の申出があり、長谷川教育長が、前回会議録の承認後、5分以内に限り口頭陳述することを許可した。
- (3) 傍聴人 2名